



# さわやか

校長 本山久美子

学校・家庭・地域が連携した教育活動をより一層推進するため、7月に本校の教育活動に対する「保護者アンケート」を実施しました。また、授業や生活についてのアンケートを生徒や教職員にも実施しました。今回は、集計結果の概要についてお知らせします。

※表中の数値は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒または保護者の割合です。

## 【学校生活について】

	質問項目	R6前期	R5後期	比較
生徒	学校へ行くのは楽しいですか。	95%	93%	+2
	先生方は、自分の努力したことをほめたり、認めたりしてくれていますか。	95%	94%	+1
保護者	お子さまは、学校へ行くのが楽しいと言っていますか。	91%	90%	+1
	学校を信頼して子どもを預けていますか。	95%	94%	+1

本校の教育目標は「知性と創造力に富み 人間性豊かな たくましい生徒の育成」を掲げ、その重点目標として“魅力ある学校づくり”に取り組んでいます。生徒や保護者、地域の皆様にとっての魅力とは具体的にどのようなものであるかを考えながら試行錯誤を繰り返し、実践しています。

数値を見る限りでは、多くの生徒及び保護者の皆様が本校の教育活動にご理解・ご協力をいただいていることが推測できます。これは、大変喜ばしいことであると同時に、多くの期待を寄せられていることも強く感じることができます。

決して、現状に満足することなく、生徒一人一人の可能性を引き出し、よりよい人間性を育み、それぞれの自己実現を支援できる宇ノ気中学校を目指して、今後も前進していきたいと思えます。



## 【学習について】

	質問項目	R6前期	R5後期	比較
生徒	授業は分かりやすいですか	98%	96%	+2
	課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができますか	95%	95%	±0
	自分で計画を立てて勉強していますか	81%	78%	+3
	自分の考えを積極的に表現(書いたり・話したり)できていますか	86%	93%	-7
	自分の考えを相手に伝え、考えを深めることができますか	89%	90%	-1
	道徳の時間や様々な活動を通して人としての生き方について考えることができますか	99%	98%	+1
保護者	学校は、分かりやすい授業や学力向上(学習内容の定着)に努めていますか	79%	91%	-12
	お子様は、家庭学習に毎日取り組んでいますか	71%	74%	-3
	お子様は、自分で計画を立てて勉強していますか	62%	67%	-5

学校生活の中心は、紛れもなく授業です。私たち教員は、それぞれが担当する授業の中で教科指導を通して、知識・技能の定着はもちろんのこと、思考力・判断力・表現力や、課題に対して身につけた力で自ら解決しようとする主体性の育成を図っています。その過程で、様々な活動に取り組む生徒に寄り添い、共に考え、試行錯誤しながら指導改善に努めています。今年度より回答選択肢の中に『わからない』の項目を追加しました。回答からは、学校の学力向上に対する実践の様子が、保護者の方にまだまだ伝わっている状況ではないことが推測できます。発信の方法や機会の充実を図り、実施していきたいと思えます。



子どもたちが飛び込んでいく社会は、目まぐるしい変化を繰り返しています。これから生きる生徒たちには「正解を探す」ではなく、その場にふさわしい答えを自分なりの考えを持ちながら、いろんな仲間と協力して作り出す「最適解を創る」ことができるようになってほしいと考えます。その点においては、自分の考えを表現することは重要な要素になってきます。中学校3年間のあらゆる活動を通して、身につけてほしいと思えます。

また、自分で自分をコントロールできる力(自己指導能力)をつける必要があります。自分を頑張らせることや元気づけること、感情をコントロールすることなど、自分の中の“もう一人の自分”の存在を意識しながら、何事にも積極的に取り組んでいける環境作りに努めていきたいと思えます。

4月に実施した1・2年生の市学力調査及び、3年生の県・全国学力調査では、各教科についての分析・考察を行い、具体的な改善のポイントを示し、授業に生かしているところです。今後も生徒が学習に興味・関心を持ち、意欲的に取り組むことができるよう「分かる授業」を目指していきます。

**【将来について】**

質問項目		R6前期	R5後期	比較
生徒	将来の夢や目標を持っていますか。	78%	76%	+2
	自分には、よいところがあると思いますか。	88%	84%	+4
保護者	お子様は、将来の夢や目標を持っていますか。	68%	70%	-2
	学校は、相談や問い合わせに適切に応じてくれますか。	76%	93%	-17

日本の子ども達は、将来の夢を持っているという割合は、諸外国は8～9割ほどであるのに対し、日本は6割にとどまります。（日本財団調査2019）宇ノ気中学校の生徒も、決して高くない数値であると考えられます。



将来の夢が持てない原因はいくつかあると思いますが、夢を持つ方法も同じようにいくつかあると思います。ここでは、「自己分析」「夢を語る」の二つのキーワードで考えてみます。

「自己分析」は人間の成長を助長するものの一つだと考えられており、大人でも必要なことです。自分はどういうことが得意で、どのようなことをしたときに気分が晴れやかになったり、心地よくなったりするか、またこんな状況になると、気分が落ち込んでしまうなどを理解することです。中学生の今は、これらのような分析を一人で全て行うことは難しいことが考えられます。よって、その周囲にいる教員が様々な関わりを通して、その支援をしています。また、友達も重要な役割があり、互いに認め合えるような集団づくりを進めているところです。

「夢を語る」は、このような場を設けることが大切になってきます。教育活動の取組としても、計画があります。ぜひ、ご家庭でも日々の何気ないコミュニケーションの中で、こういった話題をとりあげることも夢を持つ可能性が高まる要因になると思います。

しかしながら、目に見える変化がすぐに現れることではないと思います。ぜひ、学校にもご相談いただき、子どもたちのために一緒に考えていきましょう。

**【生活について】**

質問項目		R6前期	R5後期	比較
生徒	黙働清掃ができていますか	93%	91%	+2
	家庭や地域で、しっかりとあいさつをしていますか	96%	97%	-1
	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	100%	99%	+1
	交通マナーを守って登校できていますか	100%	99%	+1
保護者	学校は、社会のルールや規範意識の育成に努めていますか	86%	94%	-8
	お子様は、家庭であいさつをしていますか	93%	94%	-1
	学校における、いじめの未然防止や早期発見のための取組が伝わってきますか	71%	81%	-10
	本校生徒の交通マナーはよいですか	70%	80%	-10

学校の機能が最大限発揮される条件として、学校・保護者・地域の3つが「子どもをよりよく育てる」を合い言葉に、その連携を強くすることにあると言われてしています。その連携を支える方法の一つが『情報発信』です。前述した、学習に関することの繰り返しになりますが、積極的な発信の継続に努めているところです。

今年度の重点としては、本校ホームページの充実やその更新頻度を上げることを実践しています。皆様のおかげを持ちまして、一日約1500～1700アクセスをいただいております。生徒の努力する様子や活動の雰囲気、生徒や保護者、地域の皆様に必要な情報をタイムリーに発信し、本校の教育活動を少しでも理解していただくための一助となるよう、今後も進めていきたいと思ひます。ホームページの充実に関してお気づきのことがありましたら、お気軽にご意見・ご感想等をいただけると嬉しいです。さらによりよいものに近づけるかと思ひます。よろしくお祈ひします。



また、交通マナーに関することも時折、ご連絡いただくこともあります。生徒への指導のきっかけとなる貴重なものです。ご遠慮なさらず、教えていただけると助かります。

保護者の皆様、アンケートのご協力、また、貴重なご意見ありがとうございました。学校では学校評価の結果を踏まえ、それぞれの課題を改善しながら、より良い宇ノ気中学校を創っていきたくて考えております。今後とも、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

## 保護者の皆様からのご意見より

### 部活動に関すること

○部活動の地域移行に関して、本人の自主性の尊重は分かりますが、情報や説明、学校と地域の連携が不十分ではないかと思えます。地域移行に関して、反対するものではありませんが、保護者、生徒に対して丁寧な情報提供や協議を期待したいです。

○部活動の地域移行が進む中、校外クラブに所属して頑張っている生徒に対しての学校側の応援する姿勢がない事に疑問を感じます。

部活動の地域移行に関しては、かほく市教育委員会の監督・指示のもと進めており、生徒や保護者の皆様に周知が必要な情報に関しては、速やかに行っています。しかし、部活動の地域移行については新しい取組であることから市内の競技団体は、かほく市教育委員会の指導のもと、学校関係者や地域の代表者等と協議をしながら慎重に進めているところであり、今後も、積極的な情報提供を続けていきたいと思っておりますので、不明な点などがありましたら学校または市教委までお問い合わせください。

また、校外クラブに所属する生徒も含め、これまで以上に生徒の努力を認める機会や激励する場の設定など、宇ノ気中学校の生徒であるという所属感を味わうことができるようにしていきたいと思っております。ぜひ、校外クラブ等での大会結果や活動の様子など、お子様を通じて教えていただくと助かります。



### かほく市の部活動地域移行の状況について

#### 【軟式野球】

- ・令和6年度は宇ノ気中、河北台中、高松中の3校による合同チームとして活動し、大会に出場する。
- ・令和7年度より、地域クラブとして活動し、大会に出場する。

#### 【バスケットボール】

- ・令和6年度は学校部活動として活動し、大会に出場する。
- ・公式戦終了時より、休日の活動は地域クラブとして活動する。
- ・令和7年度より、学校部活動を廃止し、地域クラブとして活動し、大会に出場する。

#### 【卓球、ソフトテニス】

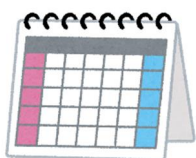
- ・現在、休日は地域クラブとして活動をしている。

#### 【柔道】

- ・令和7年度より、休日は地域クラブとして活動予定。

### 予定に関すること

○年間行事予定があると助かる。仕事の都合がつけやすくなるので。



予定に関しては、月末に翌月の予定を生徒に配付しています。また、同様のものを本校ホームページにも掲載してあります。さらに、年間行事予定も掲載しておきました。ご活用いただければと思います。

なお、予定が変更になる場合もあるかと思いますが、その時は早急にお伝えしたいと思っております。生徒への配付物、本校ホームページをご確認ください。

## アンケートに関すること

○アンケートを記名式にすることで答えづらい項目があり、形だけのアンケートになっているなどと思います。

ご意見ありがとうございます。アンケートの目的は、宇ノ気中学校をよりよくするものであり、アンケートの内容が肯定的または否定的であるかを問わず、根拠や代案を具体的に示していただければ、それは貴重なご意見です。そのような忌憚のないご意見をいただくことで、宇ノ気中学校が生徒にとってよいものへと変化を続け、学校と保護者、地域の共通の目的である「生徒をよりよく育てること」が実現できるのではと考えます。今後とも、このような趣旨をご理解いただければと思います。よろしく申し上げます。



## 学習に関すること

○授業で分からないことがある時に、先生に聞いていない。先生に聞いたらと子どもに話をしますが、聞きにくいと言っています。

学校は生徒一人一人が分かる授業を目指して、授業の準備、実践、振り返りを行っています。全員が分かることが目標ですが、そこにたどり着くまでの時間には個人差があることも理解しています。授業中に全てを理解する生徒、授業後自分のペースで復習をして理解する生徒など様々です。そのような多様な生徒に寄り添い、少しでも理解するための支援の工夫を続けていきたいと思います。例えば、授業の中で質問ができる時間を確保し、安心して先生に聞ける場の設定も具体例の一つだと考えます。また、分からないことを質問することは、自分が成長するために必要なことの一つであるという価値付けも効果的であると考えます。

これからも、生徒にとってよりよい授業を目指して努力を続けていきたいと思います。



前期保護者アンケートでは、多くの皆様のご回答・ご意見をいただくことができました。ありがとうございました。

繰り返しにはなりますが、学校は保護者・地域の皆様の支えがあっはじめて、その機能を最大限に発揮できます。お気づきのことやご不明なこと、各種ご意見等、私たちの宇ノ気中学校の発展のためにご遠慮なさらず教えていただければと思います。今後とも、よろしく申し上げます。

アンケートのご感想でもご好評いただきました、宇ノ気中学校のホームページをこの機会にぜひ、ご覧いただければと思います。右の二次元コードを読み取っていただくと便利です。

かほく市立宇ノ気中学校ホームページ →

